

第 29 回トヨタジュニアゴルフワールドカップで日本が記録を塗り替える!!!

開催国の女子がチームスコアを更新、男子は過去最高の初日を記録!!!!



大会は、米国の大学ゴルフに似た形式で行われ、男子は各チームが毎日、4人のうちベストスコアの3人を採用する。女子の部では、各チームが3人のうちベストスコアの2人を採用する。

今年で第29回目を迎えるトヨタジュニアゴルフワールドカップで下馬評では、日本の女子3人が大会史上最高の選手になるのではという声があがっていたが、彼女らはその期待を裏切らない絶好のスタートを切った。

女子が12アンダーパー132で史上最少での1日のスコアを記録したのに対し、男子も1992年の大会開始以来最高のスタートを切った。

飯島 早織は、6アンダーの66で3人と並んで女子個人首位に立ち、「このようなメンバーと同じチームというのは、とても心強い」と語った。6アンダーの66で、チームメイトの荒木 優奈ら3人が女子個人首位に並んだ。

同様に、佐藤 快斗と丸尾 怜央で6 アンダー65 をマークし、個人の部で首位を分け合った。さらに本 大志が69 をマークし、3 人合計で14 アンダー199 となり、ライバルに7 打差をつけた。

佐藤は、「直近にあった試合でも、みんなが、いいプレーをしていたので、今週は、安心してゴルフができています。」と話した。日本の女子は6 打、男子は7 打のリードで初日を終えた。

ドイツのフィリップ・マシオンガは、「初日の66 で男子個人総合首位から1 打差に迫られた。彼らのプレーには驚いたが、まだ3 日ある。毎日、日本より3 打少なくプレーできれば、優勝の可能性はある。」と語った。

韓国は男子の2 位をキープし、ジェウォン・リの66 でトータル7 アンダー206 とした。さらに、ドイツと米国が1 打差で続いている。

女子の部でも、韓国が6 アンダー138 で優勝したスペインと並んで2 位をキープしている。アメリカは、ジャスミン・クーが66 をマークして個人総合首位に立ち、さらに1 打差をつけている。「今週は日本に勝つのは大変難しいが、明日以降どうなるかが、楽しみだ」とクーはコメントした。

今日の日本の女子チームの132 は、2016 年大会の開幕戦で開催国が記録した135 を3 打上回るものだった。飯島と荒木がコースを上手に攻略し、全米女子アマチュアチャンピオンの馬場 咲希の71 を必要としなかった。

男子にとって、彼らの199 は、2019 年大会の第3 ラウンドで南アフリカが記録した194 以来のベストだった。これまでの開幕戦のベストは、2007 年大会のスウェーデンの201 だった。

「私たち4 人がチームとして一緒にプレーするのは、おそらくこれが最後だろう。」と丸尾は言った。

飯島、荒木、クーと並んで個人首位に立ったのは、スペインのアンナ・カニャドとコロンビアのマリア・ホセ・マリンだった。

マリンは、150 ヤードから9 番アイアンで放たれたボールがグリーンに落ちると、すぐに

「カラン」というカップインの音を聞いた。「その音を聞いて、まさかと思った。」と、2022年ジュニアオレンジボウル国際女子チャンピオンのマリンは言った。10番ホールからスタートした彼女は、パーで幕を開け、11番ではチップインでバーディーを奪った。ホールインワンの後、再びバーディーを奪い、最初の4ホールを4アンダーで回った。

今回で29回目を迎えるトヨタジュニアゴルフワールドカップは、6大陸の地域予選に参加した70のナショナルチームから始まった最終決戦の場所である。

男子は12チーム、女子は8チームが決勝に進出し、優勝を競った。

トヨタジュニアゴルフワールドカップ Supported by Japan Airlines の詳細については、WJGTC.org のオンラインサイトを参照。